吉祥院病院広報誌

ISO 9001 認証取得

2012 spring

きっしょういん 春

● 創立60周年特別企画
吉祥院病院の歴史（中）

● 病棟看護課グループ活動の取り組み

● 震災、原発事故、平和塾

吉祥院病院の歴史 中
創立60周年特別企画
1970年代～1980年代

病院の発展と医療と平和を守る運動

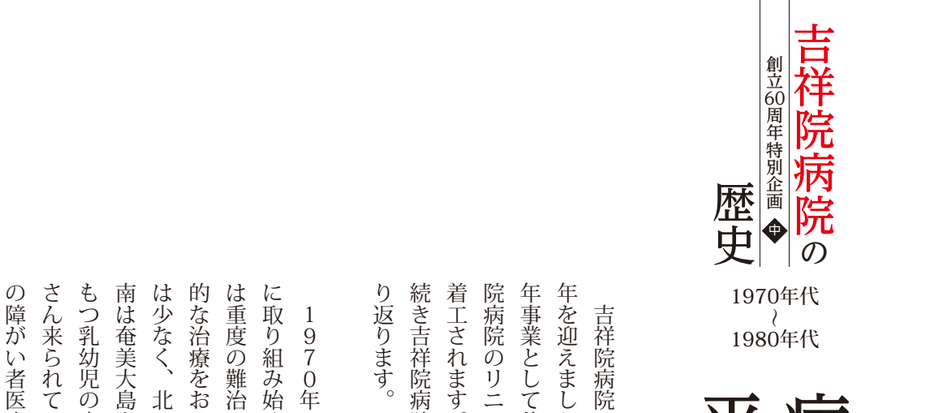
吉祥院病院は昨年創立60周年を迎えました。今年は60周年事業として位置付ける吉祥院病院のリニューアル工事が着工されます。前回号に引き続き吉祥院病院のあゆみを振り返ります。

＊

1970年に障がい児医療に取り組み始めました。当時は重度の難治てんかんの積極的な治療をおこなう医療機関は少なく、北は東北地方から南は奄美大島まで、障がいをもつ乳幼児の患者さんがたくさん来られていました。京都の障がい者医療の草分けと言われ後に右京病院に引き継がれました。

老人医療費が無料化された1973年が福祉元年と呼ばれたように、70年代は社会保障が大幅に充実した時期でした。京都でも蜷川革新府政が府民の医療福祉の要求を積極的に具体化していきました。60年代初頭に始まったベトナム戦争は激しさを増し、それと共に世界でも日本でも反対運動が大きくなっていきました。1967年に当時の橋本雅弘院長（現名誉院長）がアメリカ軍のボール爆弾、ナパーム爆弾、燐弾などの残虐兵器による被害、枯葉作戦による影響などを調査するために、調査団の一員として空襲下のベトナムに一ヶ月間滞在し調査活動を行いました。その報告をうけて不足している医療機器を送るためのカンパ活動が取り組まれました。医学書や医療機器、レントゲン車がベトナムに送られました。1975年5月にベトナム戦争は終わりますが、その後もベトナムの医療関係者と民医連との交流は発展していきました。

80年代に入ると医師体制も充実し、大腸ファイバーや心エコー、心臓ペースメーカーなどを開始して手術件数も増えていきました。1987年には患者さんや地域住民の方と病院が共同して安心して暮らせるまち作りをめざす「吉祥院病院健康友の会」が発足します。しかし80年代は臨調行革路線が始まり、今日に続く医療・福祉の総改悪が開始された時代です。「医師不足」、「たらい回し」など医療崩壊と呼ばれる今日のきびしい事態は、この時代に端を発しています。消費税も医療・福祉のためと言われて導入されました。民医連はいち早くこの医療福祉切り捨て路線に反対の声を上げ運動を展開しました。そしてこの取り組みは今日では医療や福祉の現場で働く人たちと国民の共通した「医療を守れ」という大きな世論となっています。


ベトナムに送られたレントゲン車

年	吉祥院病院	民医連のあゆみ
1967(昭42)	橋本院長第二次アメリカのベトナムにおける戦犯調査委員としてベトナムに派遣	10 南ブロック第1回日常診療総括会議開催（京都保健会南ブロック）
1968(昭43)	職員の疾患別グループを基礎とした慢性疾患管理、地域医療活動の一層の発展めざす	11 第3回日常診療総括会議にて「南ブロック医療活動方針」決定（京都保健会南ブロック）
1969(昭44)	増改築着工のため仮診療所開設	
1970(昭45)	障害児医療を開始する 3 病院増改築竣工式 診療科・内、外、小、放64床、テレビレントゲン、GTF炎光光度計レスピロメーター、バード、脳波計等設置 11 障害児医療発達相談開始	2 「老人医療費無料化運動全活会議」
1971(昭46)	眼底カメラ、オーディオメーター購入	
1974(昭49)	2 吉祥院井ノ口町鉄骨平屋診療所 地域の人々の協力を得て新築 3 社団法人京都保健会設立の一診療所となる	1 第8回日常医療活動総括会議（京都保健会南ブロック） 10 第9回日常医療活動総括会議（京都保健会南ブロック）
1975(昭50)	10 吉祥院病院創立25周年 レントゲンテレビ更新 X線回診車テレメーター購入 リハビリテーション室新設 4 吉祥院病院付属鍼灸治療所開設 5 2床増床にて77床の許認可を受ける。	
1980(昭55)	5 9床増床にて86床の許認可を受ける。	▲地域のみなさんと
1982(昭57)		
1987(昭62)	10 障害児医療部門が右京病院に移動 12 吉祥院病院友の会発足総会	
1988(昭63)	8 改築・改装竣工記念集会 「北側の老朽化した木造棟の改築（3階建）と南棟改造、CT導入、重患室、入浴設備整備」	

吉祥院病院と障害児医療の思い出

畠中 良枝さん
元吉祥院病院看護師

私が吉祥院病院で初めての事は二つあります。一つはみんなで一緒に昼ご飯を食べることでした。昼休憩の早い人が地下の給食室に全員の昼ご飯をとりにいき食堂で全職員でおなじものを食べるということでした。吉祥院病院のあたたかさはここからきているんだなと思いました。もう一つは夜中に窓の中にはいってくるコウモリでした。コウモリは病院の横を流れる川の橋の下の住人でした。ほんとうにびっくりで不覚にもキャーとさわいでしまいました。

先生達を中心に各種スタッフや医学生、看学生もいれたチーム医療に取り組んでいました。学習会も頻回におこなわれ、夜には子連れで学習会に参加していました。発達の学習会では京大の先生から発達にはふしめがあることを学び、障害をもっている子ども達にどのように援助していけばいいのかを話し合いました。点頭てんかんの研究会には聖ヨゼフの先生もこられていました。親の会もでき夏休みのキャンプや交流会を楽しみ、また障害を持った子の親の力強さに励まされていました。

楽しいことばかりではありませんでした。障害児医療に取り組んだ初期からの患者さんM君の死については春まぢかの大雪の日みんなで号泣しました。M君のお母さんから骨になったとき90歳くらいの人のようですねとお坊さんにいわれ十分に生きぬいてくれたと思いましたと話され、痛くても文句もいわずほんとうに生をまっとうしたんだなと思いました。屋上で花火やプール遊びをしたり喜んでくれる笑顔のかけらをみたくていろんな取り組みをしてきました。

生まれてきた子ども達の異常を早期に発見し保健所、病院、訓練施設とともに連携をとれるネットワークができたらとの思いで右京病院の発達医療部へ移転しました。

私自身も親となり看護師としてもたくさんの人たちに支えられ育ててもらった吉祥院病院でした。

病棟看護課グループ活動の取り組み

― 私達、看護の質の向上のためにいろんな事に取り組んでいます ―

病棟看護課では、より良い看護をめざして、テーマごとに数名でグループを作り調査、学習を行いレベルアップに取り組んでいます。見過ごされがちな点にもこだわって患者さんに喜んでいただくのはもちろん、看護師自身もやりがいを見いだせる取り組みになっています。それぞれのグループの活動を紹介させていただきます。

スキンケアグループ

昨年は創傷処置を統一するために評価表を作成したが、今年は褥瘡（じょくそう）もふまえてのスキンケアチェックリストの見直しと変更を行い、またストーマケアのチェックリストを作成し、統一したケアを実践できるようにしています。

また胃瘻のケア、褥瘡についての学習会も開催し、病棟全体の技術向上に努めています。さらに、褥瘡予防のためにエアマットを適した患者さんに使用しています。

学習会の開催、エアマットを導入することで、褥瘡予防にも努めています。

エアマットとは褥瘡予防のための寝具で空気の入った袋がある一定の時間ごとに交互に膨らんだり縮んだりを繰り返して、体にかかる圧力を分散させます。使うのは重度のマヒがある人、意識障がいのある人、寝たきりの人などに適しています

療養環境グループ

今年度は音・臭いに対する調査と床頭台の整理整頓について取り組まました。

音・臭いに対しては患者さん・御家族さん・スタッフに対してアンケートを行い、ゴミの保管についての改善をしています。床頭台では塗り薬など小さな物品など箱を設置し、少しでも良い環境での入院生活を過ごしていただくための方法を考えています。

◀改善前の乱雑している床頭台

▼整理された床頭台

接遇グループ

接遇グループは、２０１１年５月から立ち上げられ、現在４回のグループ活動及び企画運営を行っています。

そもそものグループ立ち上げの源は「今、私たちが行っている患者・家族様への接し方、対応のままでいいのだろうか」という疑問から始まりました。入院・療養生活をよりよりものとしていけるように取り組みを行っています。

接遇とは、という基礎知識学習から始まった活動ですが、今冬には患者様に参加していただくクリスマス会を行うことができました。

入院環境は治療が優先され、娯楽や季節折々のイベントごとは見過ごされがちです。家族・地域の中で本来行われていたであろう節目の行事を取り入れて、季節の変化を感じてもらうこと、またともに飾り付けを作ることで、リハビリテーションを進めるためにも行いました。参加してくださったのは合計30名。スタッフは、3階病棟有志、リハビリテーション課、栄養課共同で行いました。おいしいケーキ、歌や、演奏を楽しみました。患者様の笑顔の中、クリスマス会を行うことができました。デイルームが多くの飾りで見事なクリスマス会場になり、華やいだ場所になりました。また、サンタさんから一人一人へクリスマスプレゼントもあり、本当に喜んでいただけました。今後もこのような取り組みを続け、接遇改善、サービス向上に努めていきたいと考えます。皆様からのご意見など、随時募集しておりますので、ご意見を頂ければと思います。

嚥下グループ

摂食、嚥下グループでは患者さんに安全に食べてもらうために口腔ケアや食事介助方法の手順化を行い、他のスタッフにも知ってもらえるように掲示や学習会に取り組んできました。食事姿勢についてリハビリ課にも入って頂いています。今後摂食機能評価の見直しや栄養課なども巻き込んで病院全体で摂取・嚥下について考えていきたいと思っています。患者さんに食べる楽しみを持ち続けてもらうためにも私たちが知識を深め、技術を身につけて、正しい食べさせ方ができればと思います。

呼吸器グループ

人工呼吸器をつけておられる患者さんは装着することで様々な症状、新たな病気を発症したりします。それを未然に防ぐための看護について学習しています。昨年は病気の観点から患者さんのお体を時間ごとにかえさせていただく表を見直し作成したのですが、今年はもう一度見直し新たに修正しました。さらに、正しくお体を変えられているのか理学療法士とラウンドを行い問題点を出していただき改善に努めています。

また人工呼吸器の見方の学習会を開催し、知識と技術の向上に努めています。

緩和ケアグループ

緩和ケアグループでは、癌による痛みをはじめとした苦痛を少しでも良くし、患者さんにその人らしい生活を送ってほしいという思いから3階病棟の看護師でグループを作りました。その活動も今年で、3年目となりました。薬剤師の参加や時々院長も参加してくれています。そして、昨年10月にできた民医連中央病院西館の緩和ケア病棟からも看護師が参加してくれています。

活動としては、癌で入院されている患者さんの状態の把握（痛みに対して使っている薬の量が適切なのかなど）、事例検討（提供した看護の振りかえり）、緩和ケアに関する学習をしています。また、研修会への参加も行い知識を深めています。

今後は、緩和ケア病棟の認定看護師とも交流を持ちさらによりよいケアを提供していける様に活動していきたいと思っています。

震災、原発事故、平和塾

何を学び 次の世代にどう伝えていくか

京都民主医療機関連合会では、青年を対象とした医療人として命の尊さを考える取り組みとして「平和塾」を開催しています。今年で4回目となる「平和塾」に吉祥院病院から2名の職員が参加し、約半年間かけて学んできました。また同時期に東日本大震災の支援に若い職員が多数参加しました。参加した2名からの報告を紹介します。

平和塾に参加して

被害国として加害国として

岡村 泰彦

私達は、昨年6月30日に開校された第4期平和塾に参加しました。こで何を学ぶかというと「戦時中の日本を学び、それを若者が後代にどう伝えていくか」です。

最初の講演で長崎在住の大橋さんにお話を聞いて、原爆の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、また震災による福島原発の事故による放射能漏れにより、広島・長崎で起こった大惨事が66年の時を経て起こっている事に「核兵器のない世界」を一刻も早く実現させたいと思いました。

次に、舞鶴の米軍基地に行き、町のすぐ近くにある弾薬庫や軍艦を見て、日常生活の中に「戦争」という二文字が溶け込んでいる事に恐怖を感じました。

韓国、独立紀念館キョレ（同胞）の塔

最後は韓国へ行き、被害国としての日本ではなく、加害国としての日本の学習をしてきました。日本は原爆により、被害国としての印象が強かったのですが、実際韓国に行って加害国としてもひどい事をしていた事を学びました。二度と昔の惨劇は繰り返さない事と、これまで学んできた事を後世に伝える為に、広める活動をしていかなければいけないと思いました。

韓国、グリーン病院

東日本大震災

原発には断固反対

岡路 隆宏

昨年3月11日に起こった東日本大震災の支援に行かせていただきました。支援に行った時は、まだ公共交通機関も復旧していない状況で東京から車で約5時間かけて宮城県に行きました。宮城県に入るまでに地震の影響で道路が陥没していたり、瓦屋根が外れていたりするのを何件か見ましたが、仙台に入った途端テレビで見た津波により住宅が流され、車も埋まったりしている状況が目に飛び込んできました。夜になると、繁華街も真っ暗で明かりは車のヘッドライトのみで、コンビニも営業はしているものの、流通が滞っている関係で品物がほとんどない状態でした。支援としては、戸別訪問・避難生活をされている体育館へ訪問をしました。戸別訪問では、震災が起こった時に大事なのは近隣の方々との助け合いがとても重要だと改めて知らされた事、体育館訪問では足浴や医師による診療などの支援で、震災の影響で一人になってしまったご老人や家族と離ればなれになってしまった方に大変喜ばれてよかったと思います。

そして、その震災後の一番の問題と言ってもいいのが「原発問題」です。最初、国が大丈夫だと言っていたのが、今では避難生活を強いられる状況にあります。私が住んでいる山科の自宅のすぐ近くにある市営住宅にも福島から避難されている方がいます。未だ、この問題に関して解決もしていないのに、昨年12月に野田首相が「事態は収束に向かっている」との無責任発言をしました。国民の声を無視して原発再稼働をしようとしている政府に、皆さんの力で「原発には断固反対」との声を挙げていかなければなりません。吉祥院病院では、「原発依存を考え直す会」を立ち上げ、外来の近藤Dr中心に日々勉強や取り組みをしています。内科・外科外来にも原発に関するさまざまな情報を載せていますので、診察待ちの際でも一度目を通してみてください。

西大路駅前原発０署名宣伝行動

バイバイ原発3.10デモ行進

お知らせ

外来での医療活動
（生活習慣病外来開設に向けて）

外来看護課　荒屋滋子

内科、外科（整形外科　泌尿器科）での診療を、院内院外を問わず関係部署との連携を密にと心がけて日々の外来診療に携わっています。現在計画中の生活習慣病外来実現に向けての進行状況についてご紹介します。

生活習慣病外来とは脂質異常症（高脂血症）高血圧症、糖尿病を主とする患者様を対象に治療計画書を作成し月１回以上４回受診を１クールに、医師、外来看護師、栄養士など病院全体で指導援助行う事を目的とした外来です。

検討課題も一杯ですが、何よりも患者様の健康回復、維持増進に向けてよりよい物をと、現在取り組んでいる最中です。正式に決定次第御報告する予定です。

編集後記

ようやく日差しも和らいで春の訪れを感じます。昨年３月11日に震災が発生してから、医療支援や脱原発、市長選挙などで一年がとても短かったようにも感じます。もちろん家族を亡くされた方や家や仕事を失った人たちにとってはつらく長い一年だったと思います。東北の春はこれからですが、被災者の方々が心から訪れを喜べるような春になればいいなと思います。（永）

吉祥院病院友の会誌 きっしょういん
春号 No.18 2012 spring
民医連
公益社団法人 京都保健会 吉祥院病院
連絡先／〒601-8314 京都市南区吉祥院井ノ口町43 TEL 075-672-1331 FAX 075-691-3477

外来診療体制のお知らせ

2012年4月現在

			月	火	水	木	金	土
朝	内科	1診	近藤	近藤	清洲	三浦	近藤	近藤
		2診	三浦	三浦	井上	近藤（3診）	清洲	三浦
		3診		谷村				神経内科
	外科	1診	加藤		倉田	倉田	鈴木	長岡
昼	内科	1診	近藤	近藤	三浦（糖尿病）		近藤	
		2診	清洲	中野（内科/卒煙）1·3·5週				
	外科	1診					泌尿器科	
夜	内科	1診	沢田		中野		田中	
		2診	池野		細野		三浦	
		3診			沢田			
	外科	1診	有吉 18:30～		長岡		素輪	
		3診	泌尿器科					

診療体制の変更のお知らせ

3月より火曜日朝の外科が休診となります。4月より神経内科の専門外来が木曜日朝の椨医師から土曜日朝の中野医師に変更となります。

受付時間
朝 8:00 ～ 11:30
夜 16:30 ～ 20:00

診療開始は朝9:00、夜18:00（月・金曜日の夜の内科は17:30）

診療体制は事前に告知なく変更する場合があります。ご了承ください。

◎昼は予約制の診療です。事前の予約をお願いします。朝·夜は一部が予約制です。予約に関することは「予約・相談コーナー」でお尋ねください。

◎内科の急患の方（16歳以上）は、朝8時から夜9時まで、受付時間外でも診療します。

吉祥院病院で実施中の健診

○特定健診は医療保険者が行う健診です。健診を受けるためには医療保険者が発行する『受診券』と『健康保険証』が必要です。

対象となる方	対象年齢	自己負担額
①京都市国民健康保険	40～74歳の方	保険者により異なります（①京都市国保は500円）
②被用者保険者の被扶養者(家族)※		
③国民健康保険組合※		

※②被用者保険と③国民健康保険組合は受診いただけない医療保険者があります。病院窓口または電話にてご確認ください。

○京都市民の方が受けていただける健診

京都市国民健康保険の特定健康診査とほとんど同じ内容です。対象になる方には京都市から案内がとどきます。

対象となる方	自己負担額
④京都市民の後期高齢者医療の被保険者	負担はありません
⑤京都市民の生活保護受給者	

上記の健診制度の対象でない方も、吉祥院健康友の会の健診など受けていただける健診制度がありますので、当院健診担当者までお問い合わせください。
連絡先：保健管理課　電話075-691-6473（直通）

民医連
公益社団法人 京都保健会
吉祥院病院

〒601-8314　京都市南区吉祥院井ノ口町43
TEL 075-672-1331
FAX 075-691-3477
http://www.kissyouin-hp.org/

ISO 9001 認証取得

交通のごあんない

●公共交通でお越しの方
JR西大路駅徒歩7分
市バス「西大路九条」下車
南西へ徒歩5分
市バス「吉祥院車道町」下車
南東へ徒歩5分

●お車でお越しの方
西大路九条の交差点を西へ
1つ目の信号を南へ200m
病院の南西方向に駐車場があります